

学校運営協議会 議事録

校名	府立だいせん聴覚高等支援学校
校長名	林田 健祐

開催日時	令和5年 6月1日(木)
開催場所	だいせん聴覚高等支援学校 校長室
出席者(委員)	安田忠央 委員、澁谷栄作 委員、余部信也 委員、井上 洋 委員、 前田 浩 委員、南 寛子 委員
出席者(学校)	校長、教頭、首席2名、部主事、進路指導部主任、教務部主任 生活指導部主任、事務長
傍聴者	なし
協議資料	令和5年度 学校経営計画 他
備考	

議題等(次第順)	
1 校長あいさつ 2 委員紹介 3 協議 4 保護者からの意見書について 5 その他【事務局】	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
各委員からのご意見	
3 協議	
1) 進路状況について【進路指導部長】	
<ul style="list-style-type: none"> ・今まで、健聴者ばかりの進路を選択することはあまりなかったのか。 →ずっと聴覚支援学校にいて、健聴者が多い会社を希望する生徒もいる。希望があった時には、両方の会社で実習に行き、あらためて進路選択を考えてもらう。自分の希望と、仕事を長く続けることをよく考えて進路選択できるよう、進路指導している。 ・他の障がい者とも一緒に働くこともあるので、自分の障がいについて説明し、他の障がいについての理解も必要と考える。 	
2) 生活指導について【生活指導部長】	
<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ指導では、TPOをわきまえたメリハリのある指導が必要。時間を守ることも含めて、社会性を習得することが大事。 ・コミュニケーションツールとして、スマホは使えるので、道具としての使い方が大事。スマホがない時代にも問題行動はあったので、道具としての欠点を理解して、使わなくてはいけない。 	
3) 令和5年度 学校経営計画案【学校長】	
ボランティア活動の募集	
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動を企画しても、無償の単純労働では、人がなかなか集まらない。自分たちが企画して、運営する側になれば、熱心に取り組む場合が多い。 ・ボランティア活動だけでなく、何かプラス要素があるといい。 	
組織のスリム化、働き方改革	
<ul style="list-style-type: none"> ・不要な会議や報告などを減らす。仕事の精査と自動化、業務の効率化。 	
4 保護者からの意見書について【事務局】	
<ul style="list-style-type: none"> ・意見書の提出はなし 	

次回の会議日程	
日時	令和5年11月9日(木)10:00～
会場	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校 校長室